平成　21　　年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1471903086	事業の開始年月日	平成18年3月1日
		指定年月日	平成18年3月1日
法人名	新星ハウス株式会社		
事業所名	はくおうの里		
所在地	（　239-0842　） 神奈川県横須賀市長沢1-34-15		
サービス種別 定員等	□　小規模多機能型居宅介護	登録定員　名 通い定員　名 宿泊定員　名	
	✔　認知症対応型共同生活介護	定員　計　9名 ユニット数　1ユニット	
自己評価作成日	平成21年10月15日	評価結果 市町村受理日	平成22年1月21日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

私たち「はくおうの里」で働く全ての職員は、認知症によって自立した生活が困難になった方々の安心と尊厳のある生活を守る為に力を尽くすことに使命感と誇りを感じております。またグループホームを地域に開かれたものにするとともに利用者が地域社会の一員として生活することを支援しています。なお職員は積極的に研修に参加し介護技術の向上に努力している。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社R - CORPORATION		
所在地	横浜市神奈川区鶴屋町3－30－8　ＳＹビル2F		
訪問調査日	平成21年11月6日	評価機関 評価決定日	平成21年12月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

このホームの特長として

①ご近所とのゴミ問題を清掃協力により、良い方向での解決が出来、その結果、運営推進会議にもご近所代表が喜んで参加して頂ける体制となった。前管理者のこのアクションは職員全員で交代で清掃する現在の体制となり、職員もご近所の方に「ありがとう」と云って頂く事に喜びを感じるようになった。町内会や隣の公園の盆踊りでは席を設け招待して頂けるなどご近所との良い関係が築けた。

②ご家族への連絡は毎月の通信、ケアプラン、変化の起きた時の電話などで定期的に行う他、ご家族は地元の方が多く、良く訪問してくれているので、その折に直接お話しするようにしているので関係は極めて良好である。

③利用者の思いの把握については常に大切であると理解し、把握に努めている。認知症は中、軽度であり、生活も自立した利用者が多いので直接意向を知ることが出来るケースも多い。ケアについては、グループで行うこととし、カーデックスの気付きノート及び連絡ノートで毎日の気付きを記入するモニタリングを実施している。ご家族の訪問も多いので、要望等を伺うようにしている。

④利用者が明るく過ごせる為には、職員が明るいことが大切であり、お互いの良いコミュニケーションによる明るい雰囲気作りに努めている。これを維持するため、職員同士　日常も会議でも何でも云い合えるような雰囲気作りを大切にして取り組んでいる。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
Ⅰ 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
Ⅴ アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	はくおうの里
ユニット名	1ユニット

Ⅴ　アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 （参考項目：23,24,25）		1，ほぼ全ての利用者の
		○	2，利用者の2/3くらいの
			3．利用者の1/3くらいの
			4．ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 （参考項目：18,38）	○	1，毎日ある
			2，数日に1回程度ある
			3．たまにある
			4．ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 （参考項目：38）	○	1，ほぼ全ての利用者が
			2，利用者の2/3くらいが
			3．利用者の1/3くらいが
			4．ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 （参考項目：36,37）		1，ほぼ全ての利用者が
		○	2，利用者の2/3くらいが
			3．利用者の1/3くらいが
			4．ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 （参考項目：49）	○	1，ほぼ全ての利用者が
			2，利用者の2/3くらいが
			3．利用者の1/3くらいが
			4．ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 （参考項目：30,31）	○	1，ほぼ全ての利用者が
			2，利用者の2/3くらいが
			3．利用者の1/3くらいが
			4．ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 （参考項目：28）	○	1，ほぼ全ての利用者が
			2，利用者の2/3くらいが
			3．利用者の1/3くらいが
			4．ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 （参考項目：9,10,19）	○	1，ほぼ全ての家族と
			2，家族の2/3くらいと
			3．家族の1/3くらいと
			4．ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 （参考項目：9,10,19）		1，ほぼ毎日のように
			2，数日に1回程度ある
			3．たまに
			4．ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 （参考項目：4）		1，大いに増えている
		○	2，少しずつ増えている
			3．あまり増えていない
			4．全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 （参考項目：11,12）	○	1，ほぼ全ての職員が
			2，職員の2/3くらいが
			3．職員の1/3くらいが
			4．ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1，ほぼ全ての利用者が
		○	2，利用者の2/3くらいが
			3．利用者の1/3くらいが
			4．ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1，ほぼ全ての家族等が
		○	2，家族等の2/3くらいが
			3．家族等の1/3くらいが
			4．ほとんどいない

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ　理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	グループホームはくおうの里の倫理綱領(別紙)を作り理念を共有し実践している。入居前より交流のあった皆様とのお付き合いを大切にし、いきいきとした生活を支援している。	グループホームはくおうの里独自の理念には、地域に関する項目も盛り込まれ、地域に貢献出来ることを目指し、理念の実現に努めている。はくおうの里の倫理綱領(別紙)を作り理念と併せて実践している。入居前より交流のあった皆様とのお付き合いを大切にし、いきいきとした生活を支援している。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設は経営者の地元に位置しており近所の農家より頻繁に野菜のお裾分けを戴く等良好な関係を保持している。叉町内ゴミ集積場所の清掃を施設が日常的に実施し感謝されている。	施設は経営者の地元に位置しており近所の農家より頻繁に野菜のお裾分けを戴く等良好な関係を保持しており、町内のゴミ集積場所清掃を施設が日常的に実施し喜ばれている。ゴミの清掃については前任管理者が始めたことをスタッフ全員で引継ぎ、職員全員が地域の方に「ありがとう」の言葉を頂ける良い展開となっている。盆踊りでは席を設け招待して頂いている。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	高齢者世帯で伴侶の認知症に理解できず苦慮する老人にアドバイスをして感謝される。	高齢者世帯での伴侶が認知症に理解できず苦慮する老人にアドバイスを行い感謝を頂いている。	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	経験豊富な民生委員及び町内会長より忌憚のない意見に感謝している。今後も和気藹々のうちにも率直な意見を引き出し改善に役立てたい。	メンバーは町内会長、民生委員、地域代表、家族代表と云う構成で横須賀市の方式で事業所会議4回、ブロック会議2回のペースで実施している。経験豊富な民生委員や町内会長より意見も頂き感謝の気持ちを持ちながら今後も和気藹々の中にも率直な意見を引き出し改善に役立てて行く。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	些細なことでも施設で抱え込まず行政に相談し早急に問題の解決を図っている。	横須賀市は高齢者福祉に熱心であり、些細なことでも施設で抱え込まず行政に相談し早急に問題の解決を図っている。 横須賀市はグループホームの育成に熱心であり、特養などと同じ扱いで公報してくれている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の防止については全職員が常に厳しく徹底しております。またその重要性についても認識し介護に対応している。創設以来一件も発生していない。	身体拘束の防止については全職員が常に厳しく徹底している。またその重要性についても充分認識し介護に対応している。創設以来一件も発生していない。 ビルの３階と云う立地条件なので鍵をかけないケアは出来難い状況であるが、閉塞感を感じさせないよう毎日の外出、買い物などの他、希望に沿った外出を実施するなど常に「鍵」の弊害には心に掛けたケアに努めている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	施設内で研修会を企画し虐待の防止に努力研鑽している。全職員はその重要性を認識し毎日の介護に対応している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度については理解している。現在この制度に該当する人は在籍しておりませんがこの事業に係る職員としては制度の熟知に努力している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては努めて本人及び親族に同席して頂き入念に説明し努めて契約書を持ち帰っていただき納得した上で日を改めて締結するよう配慮している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者さんは重度の認知症の方が多く意見の徴収は困難な状況ですが家族からは電話及び無記名の投票箱も準備してあり意見の徴集する態勢は出来ている。	ご利用者は重度の認知症の方が多く意見の徴収は困難な状況であるが家族からは電話及び無記名の投票箱も準備してあり、意見を収集するように努めている。ご家族の意見は、訪問時、年２回の家族会、必要な場合は電話でご意見を伺うようにしている。日常の生活状況等については毎月の通信でお知らせしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務の運営・活性化のため毎月職員会議を開催し職員の忌憚の無い意見を尊重し「業務改善意見」として反映している。	業務の運営・活性化のため毎月職員会議を開催し職員の意見を尊重し業務を改善する意見として反映している。職員の意見は職員会議の他、朝夕のミーティングで云ってもらうようにしている。職員の意向を雰囲気で感じたら事前に対応するよう努めている。社長も気軽に来て職員の話しを聞くようにしている。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は利用者との懇談及び家族等との電話での対応で地域密着型での職員の勤務状況を確実に把握している。一方職員は理念に基づき自由に働き成果を上げている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職場研修は年数回実施している、又外部研修は日給及び諸経費を支給しそれぞれ多大なる成果を上げている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内同業者(横須賀市認知症対応型共同生活介護事業者連絡協議会)との研修会に自主的に参加しサービスの向上に研鑽している。		
Ⅱ　安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人・家族等より詳細に亘りお話を承り、また担当のケアマネよりも状況を説明を受けている。特に本人が困っていること不安に思っていることは概ね把握している。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 　サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の困っていること、不安に思っていること等の相談を受け入れる体制は確保している。家族の不安を払拭することは毎日些細なことでも利用者さんの状況を電話で通知している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前に施設見学又は体験入所により自立に向け必要な支援を見極め把握している。現在他のサービスを必要とする利用者さんは在籍しない。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	孤独の状況に落ちがちな九人家族(利用者さん)を支えながら自立に向け職員は侵食を共にしながら切磋琢磨している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現在家族は施設に全面的にゆだねたような関係になっておりますが、今後は家族よりの積極的な支援を期待する。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	施設の理念でもあり馴染みの町内・友人との関係を大切に支援している。	施設の理念でもあり馴染みの町内や友人との関係を大切に支援している。入居者は地元の方がほとんどであり、外出、買い物により地元を実感して頂いている。社長は地元の人で親戚等に観光農園などもあり、みかん狩など楽しんでもらっている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	元気な利用者さんが虚弱な方の手を引いたり・居室の掃除を手伝う良好な関係を保持している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	本人等の希望により老人ホーム等に移設する場合は新しい施設で支障が生じないようにグループホームでの生活状況を通知する等関係を保持している。		
Ⅲ　安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者さんが本当に望んでいること、利用者さんにとって本当に必要なことは何かを把握し本人本位に支援している。	幸せを感じてもらえるケアに心掛け、ご利用者が本当に望んでいること、ご利用者にとって本当に必要なことは何かを把握し本人本位に支援するようにしている。例えば、お散歩についても、午後は家族が迎えに来ると思い込んでいる人には午前中に散歩にお誘いするなど、個人に合ったケアに努めている。ケアはグループケアに徹している。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	プライバシーの問題もあり把握は困難を伴いますが利用者さん個々の歴史や経過を把握することに今後も努力する。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の出来ること出来ないこと，分かること分からないことを把握することが大切であり実施している。今後も現状把握にベストを尽くす。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良く暮らすためにどんな支援が必要か、家族・職員の意見を参考に、また毎日の様子・過去の生活を参考に検討し計画を作成している。	本人がより良く暮らすためにどんな支援が必要か、家族・職員の意見を参考にしたり、毎日の様子、過去の生活を参考にながら検討を行ない計画を作成している。モニタリングについては、カーデックスにファイルした「気付きノート」に記入してもらい、又全体に関することは連絡ノートに毎日記入し、グループで情報を共用しチームケアを推進している。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日本人の様子を克明に記録し職員は共有すると共に介護計画に反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	突然帰宅願望が発生した場合は家族と相談し臨機に対応している。又帰宅したけど馴染みの職員のいる施設に早く帰りたい。と言われるほど良好な関係を保持している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	外出先で施設に帰られない場合を想定し警察・近隣の関係者に平素より協力関係を依頼している。又ボランティア(カラオケ・書道・会話)を受入れ成果を上げている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診を最優先させている。なお主治医は24時間365日の対応で感謝している。	かかりつけ医の受診を最優先させている。主治医は24時間365日の対応に感謝をしている。日々のケアは応診に来て頂いているかかりつけ医が良いとご家族は判断し、全員がかかりつけ医を利用している。持病で大きな病院等へ行くことを希望される方には自由に通院し、その経過を報告して頂いている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師により日常の健康管理や相談を実施している。又毎日の生活の中から個別の健康管理を実施すると共に即応体制にも迅速に対応できる体制を確保している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院者が発生した場合は、家族・病院と協働・連携している。又努めて短期間に入院目的が達成するよう病院サイド・家族と話し合っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の対応・医療連携及び看取りに関する指針があり利用者・家族の承諾を頂き共有している。	重度化した場合の対応については、医療連携及び看取りに関する指針がありご利用者、ご家族の承諾を頂き共有している。終末期に近づいた場合は、医師、ご家族、ホームと話し合いにより方針を決めるようにしている。実際に終末期の方を扱うケースがあり、職員全員でターミナルケアをする覚悟をしたが、入院されて最後までは看られなかったが職員の覚悟と意向は確認出来ている。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の対応マニュアルがあり職員には徹底しておりますが、創設以来幸いにも事例が少ないため、対応未経験の職員も在籍しており今後も定期的に訓練する。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災計画に沿って定期的に訓練を実施し消防署に報告済みである。なお、町内よりの支援依頼については町内会長より承諾を頂いている。	防災計画に沿って定期的に訓練を実施し消防署に報告済み。町内会からの支援については町内会長より承諾を頂いている。ホームの連絡網の整備、消防訓練（消防署の協力による）など防災体制に努めている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ケアマネージメントでは利用者・家族のプライバシーを聞き取るため施設としては厳重な守秘義務を課せている。又職員も全員趣旨を理解している。	施設として、ご利用者・ご家族のプライバシーは厳重な守秘義務を課せている。職員も全員趣旨を理解している。また、職員の定期的な研修の実施、マニュアルの整備などを行い、常にプライバシー維持に心掛けている。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日の生活の中で意図的（入浴の順番・カラオケの選曲・テレビ番組の選曲・散歩先の選択）に促す取組みを日常的に実施している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自立支援を図るため利用者の「出来そうなこと」「やりたいこと」を極力手お出さず見守りを重視している。また散歩については本人の意向・希望を尊重してその都度実施している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみについてはそれぞれの好みどおりに、又美容院については希望通り支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者さんと職員は同じ食事を一緒に楽しみながら食べ方の混乱や・食べこぼし等に対する支援をさりげなく実施している。食事の支度は元気な利用者と共に実施するよう心がけている	ご利用者と職員は同じ食事を一緒に楽しみながら、食べ方の混乱や・食べこぼし等に対する支援をさりげなく実施している。食事の支度はお元気なご利用者と共に実施するよう心がけている。ご利用者の好み、希望のメニューについては、日々心掛けると共に、月に１回は外食するようにしている。（お寿司の希望が多い）また、イベントやX'mas会、敬老会では美味しい物を食べて頂くように努めている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養の過不足が起こらないよう毎日の食事で見守りを重視している又食事については外食産業の管理栄養士にメニューの希望を出し支援している。水分の確保については問題ない。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯磨き・うがい・入れ歯の消毒及び出血や炎症のチェック等利用者の残存機能を引き出しながら口の中の汚れや臭いが生じないよう口腔の清潔を日常的にそれとなく支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツを出来る限り使用しないで済むように利用者の排泄パターンを把握している。又個別の24時間体制の排泄記録を作成し支援している。	オムツを出来る限り使用しないで済むように職員は、ご利用者の排泄パターンを把握し、現在はオムツの人はいない。また、個別の24時間体制の排泄記録を作成し支援している。現在は全員自立されており、早目の声かけや動作の観察でおトイレサインを見逃さないように努めている。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然排便を促すため水分補給・繊維食品及び運動散歩の追加等毎日の生活の中で継続的に対応している。　また個別に排泄の状況を把握し対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	浴槽は一般家庭と同じお風呂でゆっくり楽しく本人のペースで対応している。なおお風呂嫌いの利用者さんもそれとなく誘い週2回以上は実施している。	浴槽は一般家庭と同じお風呂でゆっくり楽しくご本人のペースで対応している。お風呂嫌いのご利用者もそれとなく誘い週2回以上は実施している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの睡眠パターンを把握し眠れない利用者さんには日中の活動に配慮している。なおどうしても眠れない夜は職員が話し相手になる等対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師・薬剤師よりのアドバイス及び市販の本による解説で概ね職員は理解している。なお薬の管理は利用者さんは困難であり施設で管理している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	自立支援を図るためそれぞれの利用者さんの「できそうなこと」「やりたいこと」を極力手を出さずに見守りを重視することにより楽しみ、気分転換を支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日散歩若しくはドライブにより外出を楽しんでいる。なお施設には専用の車両を配置してありいつでも利用できる。	毎日散歩若しくはドライブにより外出を楽しんでいる。この施設では専用の車両が配置されておりいつでも利用できる。遠出の為の車はホームの車１台と会社の車を１台活用出来るようにしている。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を管理できる利用者さんは一人在籍しておりますがそり以外の方は施設で管理し日用品や化粧品等を自由に買い物できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話については利用者さんの希望の都度を支援している。手紙を書ける入居者は一名でほぼ一ヶ月に一度ほど家族宛に書いておられる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員は利用者さんの要望を取り入れ居室・食堂の配置を変更したり、また地元農家より度々生花の差し入れがあり居心地の良い環境を確保している。	職員はご利用者の要望を取り入れ居室・食堂の配置を変更したり、地元農家の方からの生花の差し入れを頂いて空間を飾る等、居心地の良い環境を確保している。インテリアは幼稚園的にならないよう工夫しつつ、折り紙等の作品を壁に貼るなどしている。ビルの中にあることを感じさせない工夫にも努めている。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	それぞれの居室は床暖房また暖冷房が完備してあり一人で静かに過ごすことが出来る。また気の合う友達と話すことが出来るようそれぞれ配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	思い出の建具等(タンス・仏壇等)持込み楽しく居心地のよう環境を確保している。	ご利用者の思い出の建具等(タンス・仏壇等)を持込んで頂き、楽しく居心地の良い環境になるよう、ご利用者、ご家族にも勧めている。午後、食事が終わったあと１時間ぐらい経つと自由に自分の部屋で寛げる体制となっている。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内はそれぞれの身体機能を活かすことが出来るよう安全で自立した生活が出来るよう細部に亘り配慮している。		

目　標　達　成　計　画

事業所　　ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ　はくおうの里

作成日　　平成21年11月10日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目　　標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	19	現在家族は全面的に施設にゆだねっぱなしである。	本人と家族の絆を大切に保持しながら施設は支援したい。	こちらから情報を流しつつ、①度々施設に面会に足を運んで頂くようお願いする。②電話・手紙だけでも頂けるようにする。	１年
2	40	虚弱な利用者は不可能であるが、なるべく食事準備・下膳に参加して頂きたい。	食事を楽しむことができる支援	ＡＤＬに合わせた、簡単な献立の準備などの検討と参加の実施	１年

注1）項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注2）項目数が足りない場合は、行を追加すること。